



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年11月12日

上場会社名 アンドール株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4640 URL https://www.andor.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)栗原 高明
 問合せ先責任者 (役職名)管理本部長 (氏名)埴 勝宏 (TEL)03(3419)3011
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の業績 (2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	1,278	△12.9	82	175.8	109	203.3	74	△76.3
2020年3月期第2四半期	1,468	—	29	—	36	—	316	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	14.44	—
2020年3月期第2四半期	61.06	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	2,993	2,156	72.0
2020年3月期	2,980	2,069	69.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 2,156百万円 2020年3月期 2,069百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,800	△3.1	200	23.0	205	20.2	130	△66.4	25.11

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	5,184,140株	2020年3月期	5,184,140株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	6,289株	2020年3月期	6,289株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	5,177,851株	2020年3月期2Q	5,177,851株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、生産・販売活動全般が依然として停滞し続けており、広範囲の業種において人員過剰感も高まりつつあることから、今後の企業業績や雇用・所得環境の悪化が強く懸念される様相を呈しております。当社をはじめとしたソフトウェア業界においても、昨今の受注環境が一層厳しさを増していることから、販売網・開発体制の見直し、新商材・新サービスの投入、オンライン商談会の開催等、各社が工夫を凝らした経営施策を次々と打ち出しはじめており、当社においても、ウィズコロナ時代に即した新たな事業展開を日々模索する運びとなりました。

このような状況のもと、当社は、独自のソリューションで主に日本の代表的な基幹産業の自動車・重工業・精密機器や電気機器等の設計の礎となるCAD設計から、アプリケーションソフト開発、カスタマイジング、保守運用に至るまで総合エンジニアリングサービスで多様化するお客様のニーズにお応えする事業を推進しております。

当第2四半期累計期間においては、新型コロナウイルス感染症による需要低迷の影響により、各種ソフトウェア開発案件の受注が減少し、当社の主力製品であるCADソフトの販売も低調な推移となりました。一方で、前年同期における退職給付債務の算定方法変更に係る一時費用（人件費）の計上や子会社合併に伴う合併利益（特別利益）の計上等、段階利益に大きな影響を与える特記事項は発生いたしませんでした。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高は1,278,678千円（前年同期比12.9%減）、営業利益は82,707千円（前年同期比は175.8%増）、経常利益は109,837千円（前年同期比203.3%増）、四半期純利益は74,786千円（前年同期比76.3%減）となりました。

セグメントごとの業績は下記のようにしております。

なお、前事業年度末をもって、「不動産事業」セグメントを廃止したため、第1四半期会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第2四半期累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

I エンジニアリング事業

業務系・制御系・LSI設計・回路設計・機械設計等の豊富な経験を持つ技術者が、ソフトウェア開発からアウトソーシング・技術者派遣まで、多方面にわたる設計サービス分野において、総合エンジニアリングサービスを行っております。

新型コロナウイルス感染症の影響により、自動車・電機関連を中心とした各種開発案件の受注が減少し、緊急事態宣言発出に伴う出勤調整等により、技術者稼働工数が減少いたしました。一方で、前年同期における退職給付債務の算定方法変更に係る一時費用（人件費）の計上がなかったこと等の事由により、この事業の売上高は987,697千円（前年同期比6.6%減）となり、経常利益73,721千円（前年同期は経常損失20,449千円）となりました。

II プロダクツ事業

自社の開発商品であるソフトウェア、附帯するハードウェア機器を販売し、導入・保守・運用・受託開発を行っております。

パッケージソフト開発・販売としては、2次元CADソフト「CADSUPER」ならびに「CADSUPER Lite」、3次元CADシステム「CADSUPER Works」、2.5次元CAMソフト「CAMCORE EX」等のCAD/CAM関連製品を主力製品として取り扱っております。

システム商品販売としては、自社開発製品をベースに他社との協業でのトータルソリューション製品を販売し、お客様のニーズに適合するシステムを提供することによりお客様指向、問題解決指向型の提案営業を行っております。

導入運用サービスとしては、自社製品販売に伴う導入・保守・運用・サポート収入が主体であります。

受託開発としては、自社CADソフトのカスタマイジングをはじめ、当社の3D技術を活かしたソフトウェア開発を行っております。

新型コロナウイルス感染症の影響により、主要なユーザーである製造業の設備投資が低迷したことに加え、顧客訪問による営業活動が制限された関係で、CADソフトをはじめとした自社製品販売が低調な推移となりました。上記事由により、この事業の売上高は290,980千円（前年同期比27.3%減）となり、経常利益は36,115千円（前年同期比32.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金の減少(389,689千円から338,125千円へ)51,563千円、ソフトウェアの減少(111,241千円から91,497千円へ)19,744千円、繰延税金資産の減少(165,112千円から153,092千円へ)12,019千円等があったものの、現金及び預金の増加(2,034,968千円から2,044,162千円へ)9,193千円、前払費用の増加(54,345千円から67,388千円へ)13,042千円、ソフトウェア仮勘定の増加(15,395千円から45,951千円へ)30,556千円、投資有価証券の増加(138,822千円から177,530千円へ)38,707千円等により、前事業年度末に比べ13,704千円増加の2,993,815千円となりました。

負債は、未払金の増加(21,933千円から24,431千円へ)2,497千円、退職給付引当金の増加(399,014千円から406,030千円へ)7,016千円等があったものの、未払法人税等の減少(74,017千円から42,357千円へ)31,659千円、未払消費税等の減少(58,432千円から28,121千円へ)30,311千円、前受金の減少(140,079千円から126,322千円へ)13,757千円、賞与引当金の減少(95,045千円から90,171千円へ)4,874千円等により、前事業年度末に比べ73,481千円減少の837,004千円となりました。

純資産は、配当金の総額15,533千円等があったものの、四半期純利益の計上74,786千円により、前事業年度末に比べ87,185千円増加の2,156,810千円となり、自己資本比率は72.0%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月20日公表の「2020年3月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」をご参照ください。業績予想の修正はありません。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来の予想に対する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,034,968	2,044,162
受取手形及び売掛金	389,689	338,125
商品及び製品	2,650	2,470
仕掛品	10,675	11,505
貯蔵品	7,138	5,059
前払費用	54,345	67,388
預け金	18,339	18,639
未収入金	2,503	-
その他	431	2,777
流動資産合計	2,520,743	2,490,128
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	7,573	11,526
工具、器具及び備品（純額）	3,676	4,705
有形固定資産合計	11,250	16,232
無形固定資産		
ソフトウェア	111,241	91,497
ソフトウェア仮勘定	15,395	45,951
電話加入権	3,219	3,219
無形固定資産合計	129,857	140,668
投資その他の資産		
投資有価証券	138,822	177,530
破産更生債権等	698	698
敷金	13,325	15,162
会員権	9,475	9,475
繰延税金資産	165,112	153,092
貸倒引当金	△9,173	△9,173
投資その他の資産合計	318,260	346,786
固定資産合計	459,368	503,687
資産合計	2,980,111	2,993,815

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	52,266	48,617
未払金	21,933	24,431
未払費用	52,824	51,118
未払法人税等	74,017	42,357
未払消費税等	58,432	28,121
前受金	140,079	126,322
預り金	7,626	6,911
賞与引当金	95,045	90,171
その他	2,051	4,976
流動負債合計	504,277	423,029
固定負債		
退職給付引当金	399,014	406,030
役員退職慰労引当金	7,194	7,944
固定負債合計	406,208	413,974
負債合計	910,485	837,004
純資産の部		
株主資本		
資本金	501,889	501,889
利益剰余金		
利益準備金	30,748	32,301
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,536,802	1,594,502
利益剰余金合計	1,567,551	1,626,804
自己株式	△1,910	△1,910
株主資本合計	2,067,530	2,126,783
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,095	30,027
評価・換算差額等合計	2,095	30,027
純資産合計	2,069,625	2,156,810
負債純資産合計	2,980,111	2,993,815

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	1,468,358	1,278,678
売上原価	1,170,845	959,514
売上総利益	297,512	319,164
販売費及び一般管理費	267,527	236,456
営業利益	29,985	82,707
営業外収益		
受取利息	203	174
受取配当金	5,769	4,519
固定資産賃貸料	252	252
受取補償金	-	3,352
助成金収入	-	18,974
雑収入	104	21
営業外収益合計	6,329	27,294
営業外費用		
支払利息	84	83
固定資産賃借料	-	81
雑損失	11	0
営業外費用合計	95	164
経常利益	36,219	109,837
特別利益		
投資有価証券売却益	1,444	-
抱合せ株式消滅差益	287,122	-
特別利益合計	288,567	-
税引前四半期純利益	324,786	109,837
法人税、住民税及び事業税	53,259	33,804
法人税等調整額	△44,612	1,245
法人税等合計	8,647	35,050
四半期純利益	316,139	74,786

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	324,786	109,837
減価償却費	35,397	34,167
抱合せ株式消滅差損益 (△は益)	△287,122	-
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△1,748	750
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	152,658	7,016
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,253	△4,874
受取利息及び受取配当金	△5,973	△4,693
受取補償金	-	△3,352
助成金収入	-	△18,974
支払利息	84	83
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,444	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△18,496	51,563
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△15,734	1,429
仕入債務の増減額 (△は減少)	16,889	△3,625
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△12,359	△30,311
前払費用の増減額 (△は増加)	△14,506	△13,042
その他の資産の増減額 (△は増加)	△8,927	△66
その他の負債の増減額 (△は減少)	△10,763	△15,181
小計	155,992	110,725
利息及び配当金の受取額	5,973	4,693
補償金の受取額	-	3,352
助成金の受取額	-	18,974
利息の支払額	△84	△83
法人税等の支払額	△56,177	△62,454
営業活動によるキャッシュ・フロー	105,704	75,209
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,679	△6,932
無形固定資産の取得による支出	△32,837	△43,218
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	43,674	-
貸付金の回収による収入	30	-
その他	332	△584
投資活動によるキャッシュ・フロー	9,517	△50,737
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△15,217	△15,277
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,217	△15,277
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	100,003	9,193
現金及び現金同等物の期首残高	1,241,236	2,034,968
連結子会社の合併による現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	182,672	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,523,912	2,044,162

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計 (注)
	エンジニアリング事業	プロダクツ事業	不動産事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	1,057,431	400,179	10,747	1,468,358	1,468,358
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,057,431	400,179	10,747	1,468,358	1,468,358
セグメント利益又は損失(△)	△20,449	53,765	2,903	36,219	36,219

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期損益計算書の経常利益と一致しております。

II 当第2四半期累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計 (注)
	エンジニアリング事業	プロダクツ事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	987,697	290,980	1,278,678	1,278,678
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	987,697	290,980	1,278,678	1,278,678
セグメント利益	73,721	36,115	109,837	109,837

(注) セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前事業年度末をもって、保有不動産を全て売却し、不動産事業を撤退したことに伴い、第1四半期会計期間より、「不動産事業」セグメントを廃止しております。